

## 令和6年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

### 1. 申請団体情報

#### 1-1. 申請団体

団体名	萩市	代表者名	市長 田中 文夫
担当者部署(属性)	その他	担当者部署名	総合政策部DX推進室
担当者役職	室長補佐	担当者氏名	山本 剛
住所	758-8555 山口県萩市大字江向510番地		

#### 1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

団体名		連絡先部署	
担当者氏名		連絡先電話番号	
		連絡先E-mail	

#### 1-3. 支援を求める内容

支援方法	職員向け啓発・研修(単独)	事業名	DX推進員研修・課長級職員向け研修
概要	「DX推進員」「課長級職員」に対するDXマインドセット研修会の開催		
支援を求める分野	人材(DX推進のための機運の醸成)		

### 2. 地域情報化アドバイザー派遣実績

2-1.	期日・支援内容の変更あり	受付番号	変更後の派遣日	変更後に実施した支援内容	実地/オンライン
対応日・時間	無				
	派遣日予定日(申請書より)	支援内容(申請書より)	開始時刻	終了時刻	内休憩時間(分)
	令和6年8月5日	講演(実地)	10時00分	15時30分	
				活動時間(分)	330
2-2.	会場名	萩・明倫学舎	最寄駅		
派遣場所	所在地	山口県萩市大字江向602番地	最寄駅からの交通手段	<a href="https://www.city.hagi.lg.jp/site/melinkakusha/access.html">https://www.city.hagi.lg.jp/site/melinkakusha/access.html</a>	

### 3. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	森戸 裕一
評価	大変よい
上記評価の理由(どのようなところがよかったか等詳細に)	令和4年度から継続して支援をお願いしている「DX推進員研修」「課長級職員向けDX研修」の中の「課長級職員向けDX研修」でした。前回の「DX推進員研修」で行ったワーク内容を活かし萩市役所職員の現状の課題を踏まえながら管理職に対し危機意識を持たせる内容であったかと思えます。また、管理職として必要なタイムマネジメントの重要性やその方法も内容に含まれており、今後の業務を進めて行くヒントをいただきました。
アドバイザーへの要望事項	来年度の研修も継続してお願いしたい。

### 4. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

4-1. 支援を受けた対象者	属性(職員、一般、企業等)について【自由記述】		合計人数	60人
	自治体職員	住民	企業・団体	その他(学生など)
人数	60	0	0	0

#### 4-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果

事業の課題・問題点(具体的にご記入下さい)	萩市では令和3年度7月にDX推進の専門部署を設置し、「DXによる幸せなまちづくり」を目指してDX推進に取り組んでいる。現時点では、DX推進室が中心となり、国策定の自治体DX推進計画に掲げられた内容を主に取り組んでいるところだが、各部署での自発的な取組は過去の本事業の取組により徐々に広がりを見せてはいるものの、まだまだ不足しており、職員のさらなる育成(DXマインド醸成・ITリテラシー向上)が課題となっている。
支援により目指す成果(具体的にご記入下さい)	「課長級職員」ならびに各部署に配置している「DX推進員」に対して研修を行っていただくが、以下を目指す成果とします。共通してDXに対する理解と積極的な姿勢を持つこと。「課長級職員」については、BPRの推進により、無駄な業務を削減し、より付加価値の高い業務に所属職員を集中させることなど。「DX推進員」については今年度導入を予定している生成AIの活用方法を理解し、実践すること、所属長に対してDXに関する具体的な提案を行い、所属全体のDX推進をサポートすることなど。

アドバイザーに支援を受けた内容 (具体的にご記入下さい)	前段に行った「DX推進員研修」で行ったワーク内容を活かし、萩市役所職員の現状課題として「職員が目標や理想を描けていない」ことを挙げていただき、管理職に問題提起いただきました。また、人口減少は止められないことであり、業務も増え続ける中で住民や企業に業務を手伝ってもらうことも視野に入れ、職員は事務業務に時間を費やすのではなく、デジタルを活用しながら事務業務を効率化し、より住民に寄り添ったサービスに集中するべきだをご教示いただきました。併せて職員の業務時間を効率よく活用するためのタイムマネジメントの重要性やその具体的な方法についてもご教示いただきました。	
支援を受け改善又は解決された内容 (具体的にご記入下さい)	支援を受けた内容でも記載したが、「DX推進員研修」で浮き彫りとなった現状課題として「職員が目標や理想を描けていない」ことを挙げていただいたことにより管理職としての問題意識が芽生えた。また、タイムマネジメントの講義により職員の業務時間を把握、管理することの重要性を感じることが出来た。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑦その他 研修会の実施、研修資料の提供
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	研修終了後の取組み実態の把握や支援	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 39/60名のアンケート結果の内受講目標が達成できたと感じている職員が約9割を超えていた。また、印象に残った点として意見の中で多かったのは、「職員が理想や目標を描けていない」点と、「タイムマネジメントの重要性」であり、今後、部下職員に対しても意識しながら接するといった意見も数多く見られた。DX推進室としても継続して情報発信を実施する。	
4-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	④予算以外で、今後取組む事項がある まずは、アンケート結果を元に支援内容を検討する
4-4. 事業の最終的な目指す姿	公共サービスのデジタル化やデジタルを活用した地域産業課題に対する施策を立案しやすくする環境の整備を目指すことにより、行政手続きの時間削減や、地域事業者の競争力向上による地域活性化に繋げる。	

5. 報告書に関しての地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可

掲載許可	<input type="radio"/> 掲載可
------	---------------------------

<https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past-vear-all-houkoku/>

なおくその他>を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意ください

## 6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真(JPEG)」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

